

2021 年版鼠径部ヘルニア分類(新 JHS 分類)

原則

- 術中所見によって、ヘルニア門の位置と大きさに基づいて分類する。
- ヘルニア門の大きさは、成人の1横指=1.5cmとして測定する。
- 鼠径部アプローチと腹腔鏡アプローチのいずれにも適用する。
- L= lateral, M= medial, F= femoral とする。

L 型 間接 (外) 鼠径ヘルニア：下腹壁動静脈の外側で、内鼠径輪から脱出するヘルニア

L1 型：間接 (外) 鼠径ヘルニア (軽度)

ヘルニア門 \leq 1.5cm (ヘルニア門は第2指先端で1横指以下)

L2 型：間接 (外) 鼠径ヘルニア (中等度)

1.5cm $<$ ヘルニア門 $<$ 3cm (ヘルニア門は1横指より大きく、2横指未満)

L3 型：間接 (外) 鼠径ヘルニア (高度)

3cm \leq ヘルニア門 (ヘルニア門は2横指以上)

M 型 直接 (内) 鼠径ヘルニア：下腹壁動静脈の内側で、鼠径管後壁から脱出するヘルニア

M1 型：直接 (内) 鼠径ヘルニア (軽度)

ヘルニア門 \leq 1.5cm (ヘルニア門は第2指先端で1横指以下)

M2 型：直接 (内) 鼠径ヘルニア (中等度)

1.5cm $<$ ヘルニア門 $<$ 3cm (ヘルニア門は1横指より大きく、2横指未満)

M3 型：直接 (内) 鼠径ヘルニア (高度)

3cm \leq ヘルニア門 (ヘルニア門は2横指以上)

F 型 大腿ヘルニア：大腿輪から脱出するヘルニア

F1 型：大腿ヘルニア (軽度)

ヘルニア門 \leq 1.5cm (ヘルニア門は第2指先端で1横指以下)

F2 型：大腿ヘルニア (中等度)

1.5cm $<$ ヘルニア門 $<$ 3cm (ヘルニア門は1横指より大きく、2横指未満)

F3 型：大腿ヘルニア (高度)

3cm \leq ヘルニア門 (ヘルニア門は2横指以上)

併存型 : L 型、M 型、F 型のうち、2 つ以上のヘルニアが併存した場合
併存するヘルニアを L1~3 型、M1~3 型、F1~3 型の中から選択する

特殊型 : L 型、M 型、F 型に属さない鼠径部に発生する特殊なヘルニア

ヘルニア類似病変 : ヘルニア嚢がなく、精索脂肪腫、精索水腫または陰嚢水腫、
ヌック管嚢腫、精索静脈瘤などを認める場合

ヘルニアなし : 手術を行ったが、ヘルニア嚢およびヘルニア類似病変を認めな
かった場合

補足説明 :

* 鼠径部ヘルニアと同時に他の腹壁ヘルニアが存在した場合は、併存型とはせ
ずに、鼠径部ヘルニアのみで分類を行う。

具体例

- 1) L2 型間接 (外) 鼠径ヘルニアと閉鎖孔ヘルニアの合併例
→L2 型に分類する
- 2) M3 型直接 (内) 鼠径ヘルニアと F1 型大腿ヘルニアの合併例
→併存型に分類する

- * インターパリエタルヘルニアは、特殊型とする。
- * 内膀胱上 (窩) ヘルニアは、鼠径部ヘルニア分類に含まない。
- * スピゲリアンヘルニアは、鼠径部ヘルニア分類に含まない。
- * 閉鎖孔ヘルニアは、鼠径部ヘルニア分類に含まない。
- * スポーツヘルニアは、鼠径部ヘルニア分類に含まない。
- * ヘルニア類似病変があり、かつ、ヘルニア嚢を認める場合は、ヘルニア嚢の
部位により L 型、M 型、F 型の鼠径部ヘルニアかを判断する。
- * ヘルニア類似病変を摘出後にヘルニア門を認める場合でも、L 型、M 型、F
型とはせずに、ヘルニア類似病変とする。

原則

- 術中所見によって、ヘルニア門の位置と大きさに基づいて分類する。
- ヘルニア門の大きさは成人の1横指 = 1.5cm として測定する。
- 鼠径部アプローチと腹腔鏡下アプローチのいずれにも適用する。
- L= lateral, M= medial, F= femoral とする。

L型ヘルニア

下腹壁動静脈の外側で
内鼠径輪から脱出するヘルニア

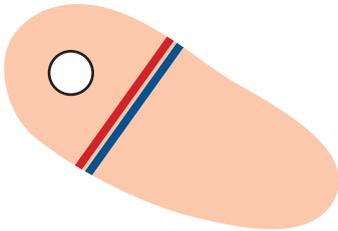
M型ヘルニア

下腹壁動静脈の内側で
鼠径管後壁から脱出するヘルニア

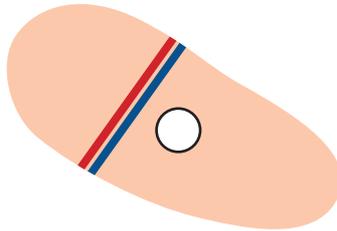
F型ヘルニア

大腿輪から脱出するヘルニア

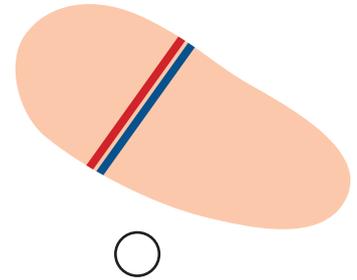
L1型



M1型

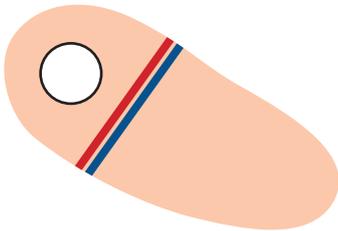


F1型

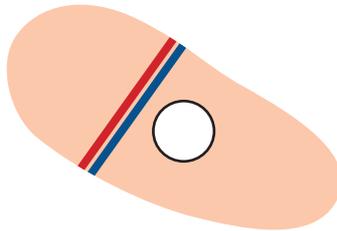


※ ヘルニア門 ≤ 1.5cm (ヘルニア門は第2指先端で1横指以下)

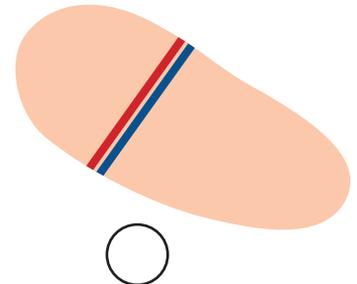
L2型



M2型

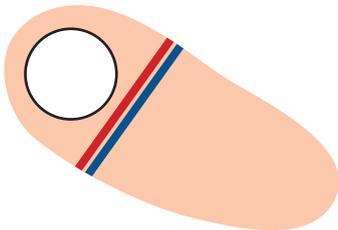


F2型

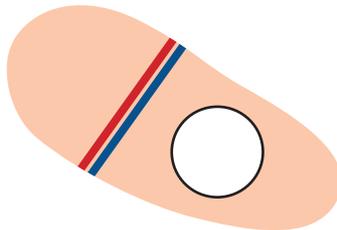


※ 1.5cm < ヘルニア門 < 3cm (ヘルニア門は1横指より大きく、2横指未満)

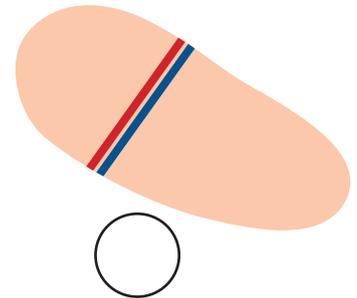
L3型



M3型



F3型



※ 3cm ≤ ヘルニア門 (ヘルニア門は2横指以上)

併存型

L型、M型、F型のうち、2つ以上が併存したヘルニア
併存するヘルニアをL1-3型、M1-3型、F1-3型の中から選択
(標記の順序は不問)

特殊型

L型、M型、F型に属さない
鼠径部に発生する特殊なヘルニア

再発：再発は初発鼠径部ヘルニア分類に従う。初めにR(再発回数によって R1、R2...)と記載する。

内膀胱上(窩)ヘルニア、スピゲリアンヘルニア、閉鎖孔ヘルニア、スポーツヘルニアは鼠径部ヘルニア分類に含まない。

国際分類、新JHS分類、旧JHS分類の比較表

	国際（EHS）分類	新JHS分類	旧JHS分類
間接（外）鼠径ヘルニア	L1：≦1横指（第2指先端）	L1：≦1.5cm（≦第2指先端の1横指）	I-1：<1cm（1横指：第5指先端）
	L2：>1横指，2横指<	L2：>1.5cm，3cm<（>1横指，2横指<）	I-2：≧1cm、<3cm（2横指：第2指と第3指）
	L3：≧2横指	L3：≧3cm（≧2横指）	I-3：≧3cm（2横指）
直接（内）鼠径ヘルニア	M1：≦1横指（第2指先端）	M1：≦1.5cm（≦第2指先端の1横指）	II-1：<3cm（2横指）かつ，ヘルニア門の中心が鼠径管後壁を二分した内側にある
	M2：>1横指，2横指<	M2：>1.5cm，3cm<（>1横指，2横指<）	II-2：<3cm（2横指）かつヘルニア門の中心が鼠径管後壁を二分した外側にある
	M3：≧2横指	M3：≧3cm（≧2横指）	II-3：≧3cm（2横指）
大腿ヘルニア	F1：≦1横指（第2指先端）	F1：≦1.5cm（≦第2指先端の1横指）	III：大きさによる分類無し
	F2：>1横指，2横指<	F2：>1.5cm，3cm<（>1横指，2横指<）	
	F3：≧2横指	F3：≧3cm（≧2横指）	
併存型	各々病型を記載	各々病型を記載	各々病型を記載
特殊型	記載せず	特殊型として具体的に記載	特殊型として具体的に記載
再発鼠径部ヘルニア	初発（P）と再発（R）を区別	再発（R）と回数を記載	初発ヘルニアの病型に従って記載
ヘルニアなし	0（ゼロ）と記載	記載せず	記載せず
不明・確認せず（できず）	Xと記載	記載せず	記載せず